



**GTR**

Nagoya University

アドバンス生命理学特論/  
Topics in Advanced Biological Science

# オートファジー・リソソーム機能の 制御機構と老化における役割

**3月3日（金） 10：30～12：00**

理学部E館 E131

大阪大学大学院医学系研究科

准教授 中村 修平



超高齢化社会という未曾有の難問を抱える我が国において、多くの疾患の最大のリスクファクターである老化メカニズムの解明と、これに基づいた健康寿命延伸法の確立が急務となっています。私たちはこれまでの研究を通して、細胞内分解システムとして知られるオートファジーや、分解とシグナル伝達の司令塔の働きを併せ持つリソソームの機能が老化や寿命制御において中心的な役割を果たすことを見出し、この分子機構の一端を明らかにしてきました。本講演ではこれまで得られた研究成果とともに、現在新たに分かってきたオートファジー・リソソーム機能の制御メカニズムと老化との関連について紹介したいと思います。

(参考文献)

Nakamura et al., *Nat Commun*, 2016, Nakamura et al., *Nat Commun*, 2019,  
Nakamura et al., *Nat Cell Biol*, 2020, Imoto-Yamamoto, et al., *Cell Rep*, 2022,  
Oe et al., *PLoS Genet*, 2022

お問い合わせ 生殖生物学グループ 田中 実（内線2979）